

■ ぐあいさつ



経営管理委員会会長
中川 泰宏



代表理事理事長
杉田 勇市

みなさまには、日頃より京都府信用農業協同組合連合会（JAバンク京都信連）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、府内JAと一体となって、府内農業の発展を金融面から支援させていただくとともに、組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指し、業務展開を図ってまいりました。

この冊子は、平成29年度の当会の事業概況や経営状況、業務内容等を取りまとめ、利用者のみなさまに当会に対するご理解を一層深めていただくために作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、平成29年度のわが国の経済は、海外景気の回復を背景に企業業績の改善が継続する等、総じて堅調に推移しました。ただ、賃上げの動きが中小企業や非正規従業員へ波及していないこと等から、国民全体が景気回復を実感するには至っておらず、国内外の政治に対する先行き不透明感も経済の重荷となりました。

一方農業を取り巻く情勢は、効率的な農業のため法人化や大規模化が徐々に進んでおりますが、高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加、鳥獣被害の増加、外国産農作物との競争激化など、多くの課題が山積したままです。

このような状況の下、JAと一体となって組合員・利用者の満足度、信頼感の向上を図り、貯金・農業資金など事業量拡大に取り組みました。また、安定した収益確保と還元を目指すとともに、経営の健全性・信頼性の確保のため、各種取り組みを実践いたしました。

平成30年度は、平成28年度よりスタートさせた「JAバンク京都中期戦略」の総仕上げの年として、その基本目標である「組合員・利用者・地域において一層必要とされる存在に」なるために、JAと一体となって自己改革に取り組み、地域に選ばれるJAバンクを目指して、役職員一人ひとりが課題意識を持ち、柔軟な発想で各事業に取り組みでまいります。

今後とも格別のご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成30年7月

経営管理委員会会長
代表理事理事長

中川 泰宏
杉田 勇市